

中春別中だより

平成27年3月24日

英知・誠実・強健・創造 中春別中学校学校便り 第25号 発行者 外山 浩司

感動的な卒業式でした ～式辞より～ 校長 外山浩司

今年は、例年になく暴風雪により臨時休校が多くありましたが、校舎の周りの木々の芽は膨らみ春の訪れを告げています。

本日、第48回卒業式に当り、来賓の皆様、保護者・地域の皆様のご臨席を賜り、心よりお礼申し上げます。



さて、卒業生のみなさん、卒業生おめでとうございます。皆さんは、新校舎が完成し、この多目的ホールでの第一回目の卒業生になります。卒業生の皆さんは、この三年間、数多くの体験や、人との関わりを通して、大きな財産を、心と体に蓄えてきました。

とりわけ、本校の伝統である全校合唱では、指揮者と各パートリーダーが協力し合い全校をまとめ上げました。その結果、文化祭当日の歌声は、地域や保護者の皆さんに大きな感動を与えました。

体育祭の「よさこい」においても、伝統を受け継ぎながらも、新たな演技を取り入れ、見ごたえのある力強い演技を披露してくれました。

これらの発表は、日頃の落ち着いた学校生活や集団のまとまりの現れであり、一年生から三年生までの強い絆があり、できあがったものです。その中心となっているのが、三年生の団結力とリーダーシップだったと言えます。これらの経験は、人間関係を築くという大きな財産になっています。

さて、皆さんの門出に当たり、二つのこととお話しします。

一つは、現在NHKの日曜日の夜のドラマ「花燃ゆ」の中で、幕末に活躍した高杉晋作たちに大きな影響を与えた、吉田松陰先生が、人が生きていく中で大切なこととして、目的を持つこと、夢に向かって進むことを説いています。

「夢なき者に理想なし。理想なき者に計画なし。計画なき者に実行なし。実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし」

また、「人間として一番おそれることは、何にもしないことである。誘惑に負けて目的に向かってやるべきことをしないことだ」と塾生で初代総理大臣になった伊藤博文らに教えています。

皆さんのこれからの高校生活の中で、もし、テレビやスマートフォン、ラインなどで、大切な時間を奪われると、とても残念な生活・生き方になるということです。

昨年本校を卒業して東京に旅立ち、芸能界に入り、紅白歌合戦に出場するなど、活躍している先輩も、自分の目標に近づきましたが、更に努力を続け、今日の活躍があるそうです。皆さんも、夢を持ち、その夢に向かって努力を続けて下さい。

二つめに、「人の話の裏を読む、相手の言っていることの奥を読む」と言うことです。これから先、高

卒業証書授与式



校の先生や両親に注意されたり、時には叱られたりすることがあると思います。その時に、なぜ叱られたのか、相手は、なぜ注意したのか? 「なぜだろう?」 と振り返ってみて下さい。そこには、相手の深い思いや願いが隠されています。それを感じとって次の行動に生かして下さい。一度目の失敗は、仕方ありません。しかし、同じ失敗を二度繰り返しては、成長がありません。相手が話した、その裏に隠されているものを、時々考えて下さい。そうすることで、プラス思考に変わり、生きることがうまくいかなることが少なくなると思います。

一年生、二年生の皆さん、皆さんが入学して以来、何かと面倒を見てくれた三年生が卒業します。学校をまとめ上げていた先輩の姿を見ていたのは、皆さんです。先輩の姿を思い出し、後に続けてください。そして、中春別中学校の伝統を受け継ぎ、更に発展させていきましょう。

終わりにになりましたが、卒業生の保護者の皆さん、お子様のご卒業おめでとうございます。本校職員を代表致しまして心よりお祝い申し上げます。

中学校での生活は、わずか三年間にすぎませんでしたが、この間、お子様の成長・変化に大きなものがあつたと思います。時には、激しいものがあり、ご苦労もあつたことと思います。これも大人になって行くための兆しだったものと思います。

これからの子育ても 宜しくお祝い申し上げます、式辞といたします。

高校合格発表 全員が第一志望に合格

3月17日に公立高校の合格発表がありました。今年度も全員が第1志望の高校に合格することができました。

4月からは、I君、Y君(釧路)、Hさん(江別)、Mさん(帯広)の4名が親元を離れ目標に向かって歩み始めます。合格おめでとうございます。

<進路先> 21名

- ・別海高校(普通科、酪農科) 9名
- ・中標津高校(普通科、事務情報科) 6名
- ・中標津農業高校(生産技術科、食品ビジネス科) 2名
- ・釧路湖陵高校(理数科) 2名
- ・帯広商業高校(商業科推薦) 1名
- ・とわの森三愛高校(アグリエイト科機農コース) 1名



(生徒会で作成した「祝合格」の前で)

酪農の歴史について

3月18日に1年生が、根釧パイロットファームの歴史について学習しました。講師は、豊原在住の本校卒業生で元PTA会長の青野芳樹さんとお父さんの春樹さん(86歳)でした。昭和31年から始まった国の大規模機械開発事業のパイロットファームで入植当時の開墾風景の動画や写真を見ながら説明を受けました。当日はテレビ局と新聞社の取材もあり、いつもと違った雰囲気の中で酪農について学習を深めていました。青野さん、お忙しい中ありがとうございました。



(青野春樹さん芳樹さん親子)



(テレビ局の取材)



(開墾の様子動画)